

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年9月号(第130号)

発行責任者 佐藤 重松



2018.8.31 川上 紀春氏 写真撮影

長崎平和記念像 長崎県長崎市松山町 平和公園

9/24・25

ところざわ倶楽部まつり



満席の会場で、みんなで楽しみましょう

今年度は会員皆様全員で楽しく集う会を目指しました。(一般公開)

舞台発表、展示にはほとんどのサークルが参加しています。舞台発表は常連サークルを初め、新たに雅楽の演奏、皆で楽しく歌う特別演奏者の出演も加わりました。

またギャラリーには会員の皆さんが日頃研鑽された書画、俳句、手芸および各サークルの日頃の活動状況等を展示します。

また、松井自治連合会・所沢市社会福祉協議会・松井地区地域包括支援センター・飛翔の会等の後援を頂き、更に地元事業主様から協賛品を頂きました。

頂いた協賛品は最後の大抽選会で全て参加の皆様!!

皆様 最後までお楽しみください!

会 場 : 松井公民館
(所沢駅東口バス2番・西武秋津団地下車)
内 容 : 24日 13:00~16:00
展示品 公開 於ギャラリー
: 25日 10:00~16:30
舞台、展示
(詳細プログラムは2Pをご覧ください)

舞台部門
* 6サークル
* 特別出演(佐井佳代子先生・音楽療法士)
* 講演・サークル活動報告
展示部門
* 個人展示(書画 陶芸 手芸 彫刻 写真 生花 俳句 川柳 等)
* パネル展示(サークル活動等)

第1回 ところざわ倶楽部まつり プログラム

所沢市民大学 OB が一般公開するまつりです。

みんな来て見て一緒に楽しみましょう!!

舞台・展示・大抽選会があります

ところざわ倶楽部は、原則として所沢市民大学を修了し、継続して学習や地域での社会貢献をめざして活動している約 270 名、15 サークルで構成する OB 会です。昨年までの文化祭・サークル発表会の進化形として松井公民館にて開催します。

【ホール部門 プログラム】

午前の部

- 09:55 開会
- 10:05 スマイルパイレーツ／チアダンス(第1部)
- 10:20 地球環境に学ぶサークル／環境問題講演「モンゴルでもソーラーシェアリング」
- 10:50 休憩(10分)
- 11:00 民話の会／オリジナル民話「河童のお伊勢参り」「塚ノ越地藏」
- 11:30 所沢の自然と農業／サークル活動紹介
- 12:00 雅の会(所沢市民大学音楽グループ)／雅楽風音楽を教育楽器で奏でる
- 12:30 昼休み 休憩(45分) 展示作品紹介(プロジェクター投影)

午後の部

- 13:15 スマイルパイレーツ／チアダンス(第2部)
- 13:30 楽悠クラブ／コーラス
- 14:00 ドラマティック・カンパニー／朗読劇／シェイクスピア「オセロー」
- 14:30 休憩(20分)
- 14:50 特別出演／音楽療法士 佐井佳代子氏／会場いっぱいみんなで歌おう
- 15:20 懐かしの映画・鑑賞会／同級会音頭ほか
- 15:50 大抽選会
- 16:25 閉会

【協賛会社】

カフェみのきゅう：
 (株)メディアスパーク（読売センター）：
 JAいるま野松井支店：
 手打ちそばぬくり：
 毎日新聞：
 山田食品産業(株) 山田うどん：
 文具のマルショウ：
 ステーキ&ハンバーグ松木：
 セブンイレブン所沢上安松店：
 長野県高山村 宮川農園
 ところざわ倶楽部役員ほか：

【協賛品／抽選会景品明細】

500円券×10枚
 ジャイアンツグッズ×20枚、液体洗剤×60
 お米 30kg (3kg×10)
 定番手打ちうどん×5
 アサヒスーパードライ×3ケース
 乾麺セット×3
 防災グッズ×10、携帯扇風機×10、抗菌マスク×5
 500円券×30
 緑茶 500ml×1ケース
 ブドウ、リンゴ各1ケース
 乞うご期待

ご協賛ありがとうございます

特別会員寄稿

香港中文大学 学生研修報告

早稲田大学 人間科学部
教授 加瀬 裕子

5月の新緑が美しい早稲田大学所沢キャンパスに、香港中文大学の20名の学生と2名の教授をお迎えしました。老年学について超高齢社会である日本の経験から

学びたいとの申し出があり、ところざわ倶楽部の皆さまや所沢周辺の高齢者関連の施設、所沢市役所のご協力、1週間の研修が実現しました。紙面をお借りして、その経過についてご報告させていただきます。

事の始まりは、1月に、香港中文大学のスティーブン・ナギ教授から私にメールが届き、ソーシャルワーク（社会福祉学部と大学院）の学生のために、講義と見学をコーディネートしてくれないかという依頼があったことです。5月12日からの1週間、という期間が決まったのは3月末のことでしたが、もうその時にはホテルがとれない状態でした。最終的に、立川のホテルを予約しバスで所沢に通うことが決まりました。研修の内容をつめる段階で大きな支援となったのは、大学の事務センターの職員の方々でした。香港に長年住んだ経験のある事務職員が細かいやりとりを行い、香港中文大学で経営学修士（MBA）をとられた事務職員が大学間の契約である協定を進めてくれました。

研修は、1日目はウェルカム行事とキャンパスの案内のみでしたが、2日目は国立リハビリテーションセンター見学ならびに高齢者介護制度の講義（私の担当）と医療制度の講義（植村尚史教授）、3日目は、高齢者施設見学を「所沢ロイヤルの園」「所沢ロイヤルの丘」「所沢ロイヤル病院」にお願いしました。三ヶ島第二地域包括支援センターの社会福祉士（ソーシャルワーカー）が業務内容について説明してくださいましたが、大変わかりやすく、私が日頃行っている講義よりも上手でした。午後には、認知症の方の「思い出ブック」を作成して会話の促進を行っているボランティア集団「ピアところ2」がワークショップを実施してくださいました。香港中文大学の学生は、写真を持参してきており、自分の「思い出ブック」を作成しながら記憶を促進する方法を学びました。4日目は、高齢者の火災・災害退避行動を研究している佐野友紀教授の講義とゼミ生による発表が行われ、香港中文大学からも5人の学生が発表をしてグループに分かれて討論をしました。早稲田大学の学生は、予想以

上に英語での討論を楽しんでおり、後日、「また、このような授業をしてほしい」とリクエストが来ました。午後には、巖淵守教授によるテクノロジーの講義、金群教授によるビッグデータを応用した高齢者支援についての講義が行われました。近未来の高齢者の生活を予言する講義は、日本の科学技術の進展を象徴するもので、香港中文大学の学生はもとより、同僚の私も大いに勉強になりました。



ところざわ倶楽部 活動説明

さて、5日目のテーマは「アクティブ・エイジング」、いよいよ「ところざわ倶楽部」の定番です。「アンチエイジング」と間違えられたとの、中原総務部長の冗談に始まり、玉上広報部長の巧みな映像技術、佐藤会長のあざやかな進行

ぶりに、香港中文大学の学生から拍手が起きました。私も初めて伺ったのですが、現役時代はアジアを舞台に活躍された皆さまのトークは絶妙でした。「ところざわ倶楽部」の次は、所沢市高齢者支援課の田中主幹による発表でしたが、登壇されると立派な中国語での挨拶をなさったので、出席していた一同は予期せぬ「おもてなし」に感激をいたしました。かつて所沢市には「中国残留孤児支援センター」があり、その影響か市役所の窓口に来る中国の方が多いので、案内できる程度の中国語を勉強したとのご説明でしたが、私の所沢市役所の方に対する固いイメージは変わってしまいました。修了式を挟んで、簡単な立食パーティとなり「ところざわ倶楽部」の皆さまは香港中文大学の学生に囲まれてたくさんの質問を受けておられました。6日目は、清瀬の「ハンセン病資料館」と「巣鴨とげぬき地蔵」を見学して、7日目に無事帰国しました。

この研修が出来ましたのは、所沢市の皆さまのご支援によるものですが、関わってくださった方々のことをより深く知る機会となり、お互いの垣根が低くなったと思います。こころから御礼申し上げます。

「戦争と平和！」
第 14 回

軍 国 の 母

佐野 弘太郎



S14. 9. 23 東京朝日新聞埼玉版

私の手元に2部の古い新聞があります。東京朝日新聞と東京日日新聞夕刊武州版。日付はともに昭和14年9月23日です。記事はともに前月27日に叔父(父の弟)がノモンハンで戦死したことを報じています。



S14. 9. 23 東京日日新聞武州版

戸籍によれば、8月27日、満州国興安北省「パルシャガル」高地付近の戦闘に於いて戦死、とあります。25歳、独身でした。

当時59歳だった祖母は、6男1女の子に恵まれましたが、この時学生だった末っ子を除いて、5人の息子を中国戦線に送っておりました。

新聞では、「軍国の母」として戦意高揚のため大きく報道されましたが、祖母の心中を思えば切ないものがあります。

1、2年後、末っ子にも召集令状が来て、父の実家で親戚たちが集まり壮行会が行われました。4、5歳だった私は出征中の父の代わりに出席しました。その時、ふと隣室を見ると脳卒中のため横たわっている祖父のマグロのような大きな体を寝返りを打たせようと小柄な祖母が懸命に押している様子をはっきりと覚えています。その日が、叔父に会った最後の日でした。

叔父は初めは北支派遣軍にいましたが、後に南方に回され、昭和19年8月29日ニューギニア(カイロニー)で戦死しました。22歳、独身でした。

6男中4、6男が20代前半で戦死。父を含めた兄たち4人も復員はしましたが各々30代、40代、60代で亡くなり、80歳まで生きたのは、関東軍からシベリアに連れて行かれ、極寒の地で重労働に耐え、敗戦後遅くに帰国した5男一人でした。

明治13年生まれの祖母は、6人の息子を立派に育て上げ、全員を兵隊にとられ、2人を戦場で失うという、大日本帝国の平均的な母親の典型だと思います。

明治45年生まれの父は、銀行員でしたが昭和12年身重の母と私を残して、中国へ出征して行きました。6月に妹が生まれましたが、母は心労のため、11月に亡くなってしまいました。

母の死を、戦地の父に伝えることに思い悩んだ祖父(母の父)は父の部隊長あてに手紙を書き父に伝えてもらいました。

父の意思により、葬儀は除隊後に行うこととなり、二階の一室に祭壇が設けられ、母の遺骨が置かれていました。昭和17年、父が除隊となり帰国しました。2月7日の日記には、「5年ぶりに布団にもぐり気分が良い」とあります。

6年後、昭和23年、父は戦地での無理がたたって、病死しました。36歳でした。

祖母、父を含めた叔父たちへの鎮魂の思いを込めてこの一文を草しました。

今後、間違っても、同盟国の始めた戦争に、集団的自衛権行使の名目で、自衛隊が参戦し、戦死者が出て、英霊となって、無言の帰国をし、靖国神社に祭られることがないように、切に願っております。

みんなでトーク
報告書

「原発問題みんなでトーク」～トークで本質を探る～

地球環境に学ぶサークル 中島 峯生



開催日:2019年8月6日(火)

場所:新所沢公民館

主催:ところざわ倶楽部

応援:地球環境に学ぶ

参加者数:44名(一般・11名、
倶楽部員・33名)

司会:中原幹男氏

開催の経緯 2019年5月14
日村田光平講師の講演会「原
発問題を語る」のアンケート

を受けたフォローアップトークセッションを開催した。

佐藤会長の挨拶 8月6日は広島原爆の日、1分間黙
祷する。この様な話し合いは倶楽部として初めてである
が、原発について考えていること、疑問に感じている
ことを話し合っ、有意義な時間にしていただきたい。

配付資料の説明 「原発問題を語る」講演後のアンケ
ート集計結果(即停止 22%、脱原発へ 40%、自然エネ
14%、継続 7%、不明 18%)を地球環境サークルメンバ
ーから説明。他の資料は都度使用した。

進行 参加者からの質問・意見に対し、地球環境サー
クルメンバーから回答・コメントした。

主なQ&A

Q ドイツの脱原発の推進がなぜ上手く進められている
のか。また、原発の割合は。

A 政府の強い意志で長期的な方針を貫いている。
ドイツ・2018年石炭 37%、再生エネ 33%、天然ガス
13%、原発 12% (30年ゼロを目指)

日本・2016年石炭 32.3%、再生エネ 13.9%、LNG 42.1%、
原発 1.71% (30年 20~22%)

Q 日本の原発の現状はどうか

A 運転中 9 (大飯 2、高浜 2、伊方 1、玄海 2、川内 2)

Q 原発の使用済み燃料の扱いは。

A 今は各原発の使用済み燃料貯蔵プールに貯蔵されて
いる。

Q 原発のコストは。

A 使用済み燃料処理費をコストに入れていない。ほかに
安全対策・テロ対策費を含めると再エネより高くなる。

Q 2011年祝島の原発建設反対の映画を見た。この計画
は今どうなったか。最近NHKで、祝島がロケされて
いた。原発にはひとことも触れなかった。

A 原発の計画は継続され、反対運動も行われている。

自由トーク

・太陽光発電、森を切り自然を破壊する。

- ・資源の無い日本には原発は必要である。産業も含め生活が成り立たない。・すでに成り立っている。
- ・東海第二原発の再稼働は絶対危険。首都東京に近い(東京駅まで 116 km)。新たな地震対策工事はしていない。日本最古の原発である。地震のある地盤上の原発は日本以外世界に例は無い。
- ・中国 50 基、韓国 20 基等の原発新設計画がある。もし事故が起こると日本に影響する。
- ・即廃止、自然エネルギーに期待、数年前の JCO の初歩的ミスを考えると怖い。
- ・東日本大震災の時、放射線量を計測するとミルクを作れる水がなかった。情報無く自分で探した。
- ・廃炉作業で作業員の被曝ゼロはうそだ。
- ・少子化でエネルギーの使用量が減少する。経済より、哲学や倫理的な思考もいれて解決すべきだ。
- ・原発は不要。デンマークは風力発電で大半をまかなっている。
- ・バイオマス、国立公園内の地熱の利用等、政府はなぜ方針を出せないのか。
- ・原発の使用済み燃料の処理は確立すべきだ。
- ・だから具体的にどうすればいいのか、というところまでたどり着けたら良い。まずは電気を再生エネルギーに切り替えよう。省エネも進めるべき。

会長の閉会の挨拶

この「原発問題」は、大変重要な問題であるだけにと
ころざわ倶楽部の内輪の問題提起にとどまることなく、
継続して原発問題についての認識を広く伝えていく
ことと国や行政に対して声を上げていくことが大事
である。

アンケートまとめ

原発問題は、良く理解できた 64%、何とも言えない
18%、ますます難しいと感じた 18%と分かれ、原発を
どうすべきかについては廃炉にすべき 89%と多かった。
また、ところざわ倶楽部内での初めてのトーク会であり、
胸が熱くなるようなご意見をたくさん聞けてありがた
かった、とのコメントもありました。参加者のご意見
を有効にしたいと思います。



会場風景

新会員の声

「今日行く」と「今日用」

所沢の自然と農業
浪間 扶美子

第25期を終了して、引き続き第27期の企画委員として残留しました。企画委員を受けた理由は単純で「もう一度講義を受ける事が出来る」それだけでした。受講終了時のクラブ勧誘では、2年次に専攻した「日本の農業」に面白さ、楽しさを感じていたので

「ところざわ倶楽部」に入会し「所沢の自然と農業」に入りました。欲張りな性質と、企画委員の役割を軽く考えていた事もあり、両立出来ると思いました。しかし、企画委員として講師との交渉の難しさや受講生を受け入れる準備の大変さ等を体験し、先輩達のご苦勞に改めて感謝の気持ちで

一杯になりました。

今は、「市民大学ファーム」に入れて頂き、先輩から野菜作りの指導や企画委員としてのアドバイスを頂き大変勉強になっています。農作業は自分達の手で作物を植え付け、育て、成長を楽しめるので嬉しいです。そして、極めは「食」です。安全・安心な野菜を収穫して食べる幸せを噛みしめています。

「ところざわ倶楽部」に入会して良かったのは、他のサークルでも興味や関心のある所に参加出来る事でした。お陰様で、横の繋がりが見聞が広がり「今日行く所」「今日の用事」が増え、忙しいですが楽しい毎日になっている事に感謝しています

体を動かして毎日を楽しむ

活きいきシニア福祉の会
井上 時義

活きいきシニア福祉の会では地球環境、財政、少子高齢化等幅広い分野で老後をいかに生きるか、次世代の若者に何を残していったら良いか等皆さんの意見が聞けて大変参考になっています。諸先輩から学んだことを少しでも

地域のお年寄りにお伝えできればと思っています。

市民大学2年次超高齢社会の福祉では、社会活動に参加している人もいない人も、「体を動かして、頭を使って、声を出して、大いに語らい(飲んで)、楽しく生きる」で健康寿命を伸ばそうと提案しました。

25期のメンバーと月1回ウォーキング&ハイキングを楽しんでいます。5月は「歴史・自然ある八国山緑道を歩く」で多少アップダウン有りのコースでしたが、歩きなれた八国山緑道を森林浴しながら楽々完歩後、所沢へ移動し食事会。毎回ワイワイガヤガヤ話が尽きない楽しい一時です。

ところざわ倶楽部のHPで地域福祉サポーター研修会が実施されることを知り参加致しました。新しい仲間とつながる事が、気にかける関係から見守る関係となり、その結果「支え合う関係」が出来上がる。地域福祉サポーターの役割はこの「つながる」のきっかけを一緒に見つけるお手伝いをする事と認識し、先輩が言っておられた「できる時に」「できる事を」「できる範囲で」気負わずに出来たらと思いました。

他にも大好きなゴルフ、昔の仲間とのグラウンドゴルフ、頭のボケ防止にと書道教室、男の料理教室等色々なサークルに参加し体を動かし毎日楽しく過ごしています。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

9月12日(木) 13:30～15:30 中央公民館3階8,9号室
竹内好夫先生講義「平家物語」第1回「大宰府落」と能「清経」
(9月～12月4回シリーズ)、15:30～16:30 例会
9月20日(金) バス旅行(沼津方面)

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月18日(水) 13:10～16:00 中央公民館 8,9号室
定例会 会員鈴木正明氏による講演
「私のアジア体験」
マレーシア、フィリピン、イランでの見聞をもとに
10月16日(水) 定例会 米濱氏の講演予定

3. 活いききシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

9月18日(水) 13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
地域包括支援センター発行パンフレットによる勉強会
10月23日(水) 13:00～15:00 生涯学習推進センター(予定)
定例会

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

9月10日(火) ミュージカル映画「ラ・ラ・ランド」
& 「暑気払い会」
10月29日(火) 実施日 & 鑑賞演目未定
楽しい音楽を一緒に!!!
いずれも13:15～ 中央公民館 3階8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

9月17日(火) 11:00～14:00 むい食堂
超簡単!! 楽しい焼製作り (所沢の自然と農業とのコラボ)
10月15日(火) 時間未定 課外活動
横浜中華街の食文化を探索(中華街の食を楽しむ)

6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)

9月24日(火) 10:00～12:00 12号地生保全整備作業:
下草刈・常緑樹等の除伐
★作業ご希望の方、北中グラウンド西側のトトロ 12号地に、
参集 ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

9月17日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 1. 「原発問題みんなでトーク」反省
2. 倶楽部祭り展示内容まとめ、3. 持寄り学習、他
10月15日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室 定例会

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

9月11日(水) 13:30～16:00 中央公民館2階6号室
第2回シニア世代「市政ひよこ塾」ー地域包括ケア支援体制
がめざすものとは?ー ポイント: 地域共生社会の実現ほか
9月29日(日) 10:00～「市民活動支援センターまつり」参加

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

9月12日(木) 13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
9月17日(火) 9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備
9月17日(火) 11:00～14:00 むい食堂 食トコとの合同イベント
9月24日(火)、25日(水) ところざわ倶楽部まつり参加

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

9月19日(木) 9:00 西武新宿線東村山駅集合～15:00 予定
旧鎌倉街道東コース(入間川・堀兼R)を歩く、碑拝観 200円
10月3日(木) 西武拝島線玉川上水駅集合 時間未定
野火止用水を歩く(玉川上水小平分水監視所～志木迄) ①

11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

9月7日(土) 10:00～12:00 発表会出し物「オセロー」練習
9月21日(土) 10:00～12:00 「オセロー」練習
10月5日(土) 10:00～12:00 「リチャード3世」朗読
10月19日(土) 10:00～12:00 「リチャード3世」朗読
いずれも中央公民館 学習室7号

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

9月10日(火) 10:00～12:30 西新井町会館
洋画「ラスト・サムライ」(03年) 米 渡辺謙、トム・クルーズ
9月24日(火) 10:00～12:30 西新井町会館
邦画「時代屋の女房」(83年) 松竹 渡瀬恒彦、夏目雅子

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

9月30日(月) 13:30～16:30
こどもと福祉の未来館 多目的室3号
・・・映画鑑賞会「翔んで埼玉」・・・
詳細はTEL. 2944-1555 本橋まで

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

9月17日(火) 14:00～16:30 新所沢東公民館
前回「市議選アンケート資料(村瀬氏)」の続き、
傍聴席の今後の活動など自由討論
10月21日(月) 新所沢東公民館予定、テーマは未定

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

9月20日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
ボランティア活動室2号 定例会
9月25日(水) 「ところざわ倶楽部まつり」舞台出演
10月18日(金) 13:00～14:30 ところ荘にて、民話の会

7月度理事会議事のフォローアップ

- ・9/10(火) 26期生対象20B会の説明会開催予定。
- ・9/24(火) 25(水) ところざわ倶楽部まつり 自治連合会、社会福祉協議会、松井地区包括支援センターの後援決定。10軒の商店等から100点以上の抽選会協賛商品を得ている。

各サークルで参加者リストを提出していただき、一般も含め200名規模の来場をめざしましょう。

総務部より

- ・各サークルから最新名簿を提出していただきました。これをもとに会費集金表を作成しますので、各サークルで10月末までに会費・広場郵送費の集金ご協力をお願いします。
- ・13期総会資料作成に向け、各サークルの活動報告を9/末締め切りにて総務部へご提出ください。
- ・13期総会
11月22日(金) 新所沢公民館ホール 第13期定期総会および講演会を開催します。

みんなの広場 第16回

活きいきシニア福祉の会
亀山 紀美子

「夏休み子ども食堂」に参加して

未来ある子供達の健全な成育と、地域でのふれあいサポートを目的として「夏休みチャレンジクッキング子ども食堂」が開催されました。このイベントは社会福祉協議会、地域福祉サポーターの佐藤重松氏リーダーの協力



のもと、こぶし町のアンジューム所沢で実施されました。

当日は猛暑の中、元気な子供達が押し寄せ、応援に駆けつけた「活きいきシ

ニア福祉の会」のメンバーも気合が入ります。メニューは“カレーとフルーツヨーグルト”。野菜を切るのは子供達の担当、おぼつかない手つきでしたが、玉ねぎで涙を流しながら次第に上手になる姿が頼もしく見えました。スタッフも、簡素な調理設備で苦戦しつつ美味しいカレー作りに励みました。子供37人、大人22名と予想を上回る人数で大盛況。対応に大わらわでしたが、腹ペコ達が大満足の笑顔にスタッフも安堵の思いでした。食後、折り紙でヒマワリのブローチを作り、施設のお年寄りにプレゼントして心優しいふれあいができました。皆さんの協力で年齢差のあった子供達が仲良くなり、「大家族」の団欒は、心や体の成長に貴重な場だと改めて実感する機会となりました。

むさし野俳句会（令和元年八月）作品抄



限りある命よ語れ広島忌
足元に花野始まるリフトかな
夏の雲空飛ぶクルマ公開す
母も吾も八月生まれ寺生まれ
禅寺やひねもす響くも無法師蟬
スト破りせし記憶あり八月尽
手花火の煙ただよふ袋道
追伸に芙蓉開くと走り書き
ほまち田や母なきあとの草の花
老い覚ゆ孫の一声夜の秋

白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生

父母帰る道懇（ねんごろ）に草刈りぬ
不器用に生きし青春雲の峰
乾拭きの上がりかまちや涼新た
雨上り田畑に蒸気みみず鳴く
シンデレラスマイル涼し芝涼し
夏休み恐竜あふれ子のあふれ
葛垂れて穂先を上ぐる川ほとり
仕掛けたる簀の夢見つつ夏の朝
青き空切り裂く機影原爆忌

荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
鈴木 征子

《編集後記》

標高1,400メートルにある東北の温泉に行ってきました。白濁したトロトロのお湯とクーラーがいない快適な夜の寝心地はまさに天国そのもの。しかし、東北と言えども山を下りればやはり暑う〜い！

そんな夏のパワフルな太陽のエネルギーを浴びて過ごした8月もあっという間に終わりです。気が付けば24節気の処暑も過ぎ白露を迎える季節となりました。朝晩など、早くも秋の気配を感じます。

それでも「ところざわ倶楽部まつり」を今月末に控えた会員の皆さまは、舞台発表や展示部門の準備に熱く燃えていらっしゃることでしょう。皆で同じ目標に向かって、一つ一つのプロセスを大切に、そして楽しみながら取り組んで「まつり」をおおいに盛り上げてまいりましょう。

（大木記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦（090-2497-1076）

川柳（四十五）作品発表 選 中島峯生

課題「階段」

階段に賽銭ださず出した顎
踊り場を歩調合わせに待ち合わせ
苦労でも階段選ぶ健康派
階段に手摺りつけてとはく弱音
上りならエスカレーターやつぱりね
階段が苦になりだすと後が無い

「自由句」

レントゲンこんでわかる若づくり
喧嘩して仲良し増すは若いうち
朝昼晩食べてばかりの若い二人
大事がり食はず腐らせ捨てる破目
スマホって財布にもなるスゴイ技
公約も毎度おなじみ標準化

縄文 人
どうし
りんご好き
突拍子
庵閑子
鼻・鬚
鼻・鬚
どうし
りんご好き
突拍子
庵閑子
鼻・鬚

次回（第46回）課題「面白い」そして「自由句」

締切り日：9月20日、担当中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161